

各 位

2023 年 7 月 3 日
SBI ホールディングス株式会社

韓国輸出入銀行からの「KB-SBI 先端革新成長ファンド」の運用受託について

当社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の持分法適用関連会社であり、韓国におけるベンチャーキャピタルであるSBIインベストメント코리아株式会社（本社：韓国ソウル市、代表取締役：アン・ジェグァン、宗 英一郎、以下「SBIインベストメント코리아」と韓国の最大手金融グループである株式会社KB金融持ち株会社（本社：韓国ソウル市、会長：ユン・ジョンギョ）の傘下にある大手証券会社のKB証券株式会社（本社：韓国ソウル市、代表取締役：パク・ジョンリム、キム・ソンヒョン、以下「KB証券」）は、このたび、韓国の政府系金融機関である韓国輸出入銀行より「KB-SBI 先端革新成長ファンド（出資約束金最低額2,200億韓国ウォン（約242億円））」（以下「本ファンド」）の委託運用会社に選定されましたので、お知らせ致します。

本ファンドは、韓国政府が2027年までにハイテク産業の超強大国への飛躍を目標に投資を強化する、半導体、ディスプレイ、二次電池、バイオ、スマートモビリティ、ロボット等の先端革新成長分野の技術力強化を目的として組成するもので、SBIインベストメント코리아は、これらの実現に向け、革新的な技術をもつ中堅・中小企業を対象に投資を行います。

本ファンドには、韓国輸出入銀行が300億韓国ウォン（約33億円）、SBIインベストメント코리아が300億韓国ウォン（約33億円）、KB証券が300億ウォン（約33億円）、KB証券の系列金融機関はじめ、韓国内の機関投資家や事業会社等が出資する予定で、最終的には2,200億韓国ウォン（約242億円）以上での組成を目指しております。

SBIインベストメント코리아は、これまでも複数の韓国政府系機関より複数のファンド運用を受託した実績を有しています。主な政府系機関には、韓国ベンチャー投資、企業成長の生態系を備えるためのマザーファンドを企画・運用する韓国成長金融、産業の開発・育成等に必要な資金を供給・管理する韓国産業銀行等があります。SBIインベストメント코리아の2023年3月末日時点の運用資産残高は13,184億韓国ウォン（約1,450億円）で、30のファンドを運用しております。

今後も積極的にベンチャーキャピタル事業を推進するとともに、韓国国内での革新成長産業の育成等を通じ、ファンド収益の拡大を目指してまいります。

【ご参考：新ファンドの概要】

ファンド名 : KB-SBI 先端革新成長ファンド
設立時期 : 2023年12月（予定）
運用期間 : 8年
投資対象 : 先端革新成長分野関連の韓国国内の中堅・中小企業等
ファンド規模 : 2,200億韓国ウォン（約242億円）（最低組成額）

※1韓国ウォン=0.11円にて換算

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126